

安佐医師会サーベイランス週報 第34週 平成30年8月20日(月)～平成30年8月26日(日)

地区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント	
	定点医療機関数	4	5	2	2	4	5	2	1	26			
	対象人口	75,115	83,974	38,432	43,294	57,093	63,914	19,542	8,518	389,882			
	定点数当り人口	18,779	16,795	19,216	21,647	14,273	12,783	9,771	8,518				
1 R Sウイルス感染症	12				1	1				14	↓	<p>【第34週 安佐圏域での各種感染症の動向】 ★報告数115件と今年最も少ない</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>RSウイルス感染症:21→14件・・・祇園12件</li> <li>咽頭結膜熱:9→7件</li> <li>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:24→14件 減少</li> <li>感染性胃腸炎:76→48件 減少</li> <li>手足口病:9→6件</li> <li>ヘルパンギーナ:18→6件</li> <li>流行性耳下腺炎:9→7件</li> <li>流行性角結膜炎:8→11件 多い</li> </ol> <p>&lt;安佐地区 RSウイルス感染症 の推移&gt;</p> <p>・流行中・・・安佐定点当たり0.58 ・全国定点当たり 1.34(宮崎、大分、愛媛多い 定点当たり3以上)</p> <p>・0～5か月 10%、6～11か月25%、1歳台45%、 2歳台20%</p> <p>&lt;3大夏風邪の推移&gt;</p> <p>・安佐地区いづれも減少! ・全国的にもいづれも減少(ピーク時期を含め 同じ推移)</p> <p>【広島県 8月のインフルエンザの定点からの報告状況】 30週～33週:10→25→22→9件 全国的に見ても、沖縄に次いで広島県多い</p>	
2 咽頭結膜熱	4									7	↓		
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	6								14	↓		
4 感染性胃腸炎	12	7	5	1	4	17	1	1		48	↓		
5 水痘													
6 手足口病	1	3							1	1	6		↓
7 伝染性紅斑													
8 突発性発しん		1			1						2		↓
9 百日せき													
10 ヘルパンギーナ	1								3	2	6		↓
11 流行性耳下腺炎	2	1								4	7		↓
12-Aインフルエンザ(A型)													
12-Bインフルエンザ(B型)													
13 急性出血性結膜炎													
14 流行性角結膜炎	1	9							1		11		↑
15 麻しん													
16 風しん													
17 MCLS(川崎病)													
18 髄膜炎(細菌性)													
19 髄膜炎(無菌性)													
20 マイコプラズマ肺炎													
21 クラミジア肺炎													
22 その他													
合計	37	27	5	2	10	32	1	1		115			

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言“**イトコール**” 安佐医師会 **873-1840**にも連絡を頂けると助かります!

【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻しん、風しん、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報  
保健センターへの届出用紙有り

・安佐地区いづれも減少!  
・全国的にもいづれも減少(ピーク時期を含め  
同じ推移)

【広島県 8月のインフルエンザの定点からの報告状況】

30週～33週:10→25→22→9件  
全国的に見ても、沖縄に次いで広島県多い